

## 8月定例会報告

8月23日(土)午後1時30分～5時

会場：立川・NHK会議室 出席者10名

まだまだ暑い中、8月の例会が開催されました。会員の出席者は9名と少なかったのですが、発表作



堤 講師

品は8本あり、堤アドバイザーの講評を頂きました。今年の撮影会は、候補地を来月の例会に持ち寄ることになりました。司会は渡辺代表幹事が務めました。

### 1. 自主作品の発表と堤 講評

黒沢 真さん「第40回高崎まつり」7分00秒



(HD)

私の生まれ故郷高崎で毎年開催されている高崎まつりに行きました。40

回目との事ですが初めての見物です。久しぶりに聞く祭太鼓のリズムや笛、鉦の音が昔の子供の頃を思い出させます。評：山車の撮影のパターンを幾つか決めて置き、交互に順序を入れ替えて撮影すれば変化が出たかと思う。アップを入れる事により迫力が増す。

渡辺 實さん「NPOボランティアまつり」4分05秒



5秒

NPO団体のボランティアまつりを覗きました。

紙飛行機作りを熱心に子

供に教える高齢者の姿を撮影。可愛い孫に接している感じが微笑ましかった。評：イベント会場の位置の説明が良かった。スローモーションにしたカットは音を消した方が良い。子供の表情が撮れたらあった方が良かった。「100機分用意し85機作られた」は最初ではなく最後が良い。

加藤 守さん「宮ヶ瀬ビデオツアー4「愛川公園つつ



じまつり」6分54秒

(HD)

地域のシリーズ作品、4作目の作品です。愛川公園

を歩いている気分で観てみて下さい。歩きながらの撮影で手振れは承知で撮影しました。評：イベント会場に集まった観客を見たかった。カメラを動かしている時の手振れは気にならなかった。ダム放流の字幕スーパーの後にアナウンスがあったが2重の説明は要らない。放流の始めは近くに寄って迫力を出してほしかった。

荒木 勉さん「祇園祭 後祭」9分59秒 (HD)



49年ぶりに復活したこの祭りは大勢の見物客で賑わいました。特に150年ぶりに修復されて参加

した大船鉦が人気でした。評：辻回しや大船鉦など、まとめて説明した方が良い。屏風祭など、もう少し説明がほしいカットがあった。町並から見た山鉦が京都らしくてよかった。

飯山一伸さん「カルガモ達の楽園」2分50秒



毎年、東村山駅前の池にはカルガモ達がやって来る。

今年は初めて2組の親子が目を楽しませてくれた。私

もじっくり観察して、撮影を楽しんだ。評：カルガモの成長記録と間違えないように、テロップ等で2組のカルガモ親子の比較の追加説明が必要である。東村山駅前の概要説明が欲しかった。カルガモ親子と一緒に歩いているカットが欲しかった。

石原恙逸さん「ぶらりバンコク1・ワット・アールン」9分50秒



数年前にタイ・バンコクの寺院ワット・アールンを訪ねた

時の旅行記録ビデオ。評：お寺の場面などの撮影方法はNHKの番組「世界ふれあい街歩き」に似ていて有りだと思う。お寺の説明をガイドがしているが、説明がとぎれとれで分かりにくい。テロップなどを流した方が良い。

#### 古谷 毅さん「奥能登スケッチ」 9分20秒



奥能登に一泊旅行をした時のスケッチです。たった24時間の旅ですが、中身は充実していました。

評：ガイドの現地音をうまく取り入れている。しかし、はっきり聞きとれない部分は現地音を止めてBGMにした方が良い。

#### 岩沢 初男さん「横浜山下公園日本丸」 6分20秒



八王子ビデオ倶楽部での撮影会に横浜山下公園の日本丸と、遊覧船に乗り海の風景、こすもらんど観覧車、

元赤レンガ倉庫、大型の客船や噴水などを撮影してきました。評：テロップと現場のガイドの説明が重複している所があった。いろんなところに行っていて面白いが、マストや赤レンガのアップなどが入ると画面がしまっていく。

## 2. 交流クラブの会報類を回覧

札幌支部報8月号、浜松遊映会通信7月号を回覧しました。

## 3. 最近掲示板に投稿された記事

クイックシンクビデオ (QSV 会報125号参照) をブルーレイ (BD) のエンコード時間データとして評価しました。20分の作品を作って比較しました。

動作環境は

COREi5 3.6G Windows8.1 EDIUS NEO 3.5  
QSV 使用 約6分半 CPU 負荷率 約85%  
QSV 不使用 約40分 CPU 負荷率 約100%  
これによると約6倍の差が発生します。CPU 負荷率も余裕がありますので、多少は他の操作が可能です。これだけ速くなると気軽に BD 化も可能になります。

## みんなの広場



デジカメによるビデオ撮影

石原 善逸

私はスチール写真が主で、ビデオはこの次の感じでスチール写真の合間にビデオ撮影をするというスタイルなので、何時もスチールカメラとビデオカメラの両方を持ち歩いているが、歳を重ねるに従いその重さに負担を感じるようになって来た。  
数年前からデジタルカメラに搭載されている動画撮影が、AVCHDのハイビジョンと云う事で、スチールとビデオが一台のカメラで兼用出来る利便性を買い、最近のビデオ撮影はもっぱらデジカメで行っている。特にフルサイズの撮像素子搭載のカメラの映像の素晴らしさに感動している。

## 10月例会のお知らせ

10月25日(土) 午後1時30分～5時

出席者が10名ほどでも8本の作品が発表されています。皆さん、頑張りましょう!

なお、9月例会で撮影会の相談がまとまると、10月か11月に実施となる場合があります。

(編集後記)

ようやく秋が訪れ、すごしやすくなりました。散歩がてらに普段の風景を撮影するのも面白いかもしれませぬ。

(荒木 勉 記)